

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年10月4日

街頭指導ありがとうございます

いよいよ10月。学校における1年の前半が終わり、今日から後半となります。

日中はまだまだ汗ばむことが多いですが、朝夕はずいぶん過ごしやすくなってきました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですので、しっかりと体調管理に努めていただきたいものです。

さて、秋の交通安全週間では、朝の忙しい時間に子ども達の登校について安全を見守っていただき本当に有り難うございました。

街頭指導をしながら、児童の人数の減少や通学についての方法が変わっていることから、春の交通安全週間には、指導場所の見直しを考えておりますが、保護者の方からも気の付いたことをお知らせいただければ幸いです。

よろしく願います。

◆◆あいさつのありがた◆◆

街頭指導に立っていただいている地域の方と話をしているうちに少し気になることもありましたが、これからの生活の中で今一度考えていただきたく、話題にしたいと思っております。

気になることと言うのは『あいさつ』のことです。

毎年ですが子ども達、保護者、地域の方、有識者などが集まっての”清水の子どもを守り、育てる会”と言う清水小学校の子ども達が安心安全で暮らすことができるように考える組織があります。

明日、火曜日には今年度2回目の会が予定されていますが、よく話題になるのが子ども達のあいさつです。その会の中では地域の方からは「あいさつがしっかりできています。これからもげんきなあいさつを続けていってほしい。」と高評価を受けるのですが、実際のところはどうかと思うことがあります。

確かに学校の中では、先生にはあいさつをしている場面を見ますが、職員の中では「仲のいい友達や先生にはあいさつをするが決して、進んではできていない。」「何度も言われたり、注意をされてから初めてあいさつを返す児童も多い。」などのことがだされます。このことは一見あいさつができているようにも見えますが、あいさつがしっかりと身につけているような現状ではないのではないかと思います。

はじめに話を戻しますが、街頭指導に立っていただいている方からも「あいさつが返ってこないことが多くあります。」「何かに夢中になってはなしていたり、下を向いたりしていて気になる子ども達があります。」と言うことを聞きました。

学校での様子、地域での様子を総合的に考えると清水小学校の児童はしっかりとあいさつができていると言えないのかも知れません。

自分ではできているつもりも、他人から見たら

できていないと思われることの1つかも知れません。

節目の時には子ども達に「あいさつ、あたま、からだ、こころの4つを鍛え、磨こう」とこれまで繰り返し話をしてきましたが、「校長は特定の人にしかあいさつをしていない」と言われ「そんなことはないのに」と思いながらも、あらためてあいさつの在り方を考えていく必要があります。

保護者をはじめ、この通信を読んでいただいている方はどうでしょうか。みなさんはあいさつは『大切』『必要』と思われていますか？直接声を聞くことはありませんが、あいさつが大切だと思われる方は、あいさつのできる土佐清水市を創っていきたいものです。

大谷選手から学ぶこと

人は生涯をかけていろいろなことを学んでいきます。また偉い？人からだけ学ぶことがあるのではなく、私自身は子ども達との関わりの中から気付き、学ぶことも多くあります。

「何を学ぶか」より「誰に学ぶか」はとても重要なことになると考えます。誰に教える授かるかが「実りある学び」の出発点になるとおもいます。そんなことを思いながら先生方は教えるプロになるために頑張っている人ばかりです。

さて前置きが長くなりましたが、現在アメリカンリーグで活躍している大谷翔平選手の姿から多くのことを学ぶことができます。若い人から年配の方まで多くの方が大谷選手のファンですが、プロ野球で活躍しているからではなく人としての生き方に感動する人がほとんどではないでしょうか。イチロー選手も大活躍してレジェンドとなっていますが、大谷選手のすごいところは若いのに…と言う形容詞が付くのではないかと思います。

ではなぜ大谷選手はたくさんの人から愛され、人気があるのでしょうか。今更ですが、小さい頃からの積み重ねはあはると思いますが、より基礎を作ったのは大谷選手は高校1年生の時に作成した目標達成シートではないでしょうか。

81ものマス目にたくさんの方が書かれています。プロ野球で活躍するためだけでなく、人として大切なことを書いています。

柱となるもののなかに『人間性』『運』と言う2つのものがあります。そして『人間性』の中には「感性、思いやり、礼儀、愛される人間、計画性、感謝、継続力、信頼される人間」。『運』の中には、「あいさつ、ゴミ拾い、部屋掃除、審判さんへの態度、道具を大切に使う、プラス思考、応援される人間になる、本を読む」と細かく目標が書かれています。

これらのことが大谷選手の中できちんと培われ、続けてきたからこそ今の姿があるのだと思います。本当にたくさんの人から愛されている姿からは学ぶことが多くあります。

みなさんに私の考えを押しつけるわけではありませんが、『学ぶ内容』より『学ぶ相手』を大切にしてほしいと思います。

ただし、現在の自分のレベルに見合う師匠と出会う方も大切です。徐々に自分のレベルを上げて、最終的に高い学びを追求する…時間はかかりますが、最も効果的な学びのプロセスかも知れません。

健康観察表の記入ありがとうございます。ひとりひとりがしっかりと感染症予防対策をとりつつ生活していただいていることに感謝します。